

報道関係各位

2019年2月21日
株式会社サンシャインシティ

サンゴの展示・解説はもちろん、VRで沖縄ダイビング体験、
アクアフォトフレーム作り、サンゴクイズ大会など楽しんで学べる！

3月5日はサンゴの日！サンゴフェスタ



サンシャイン水族館（東京・池袋、館長：丸山克志）では、サンゴの日（3月5日）を含む3月1日（金）～3月10日（日）の期間、「3月5日はサンゴの日！サンゴフェスタ」を開催します。

本企画は、サンシャイン水族館が沖縄県・恩納村の協力のもと2006年から取り組んでいるサンゴ保全活動「サンゴプロジェクト」について、みなさまにより深く知っていただくため、サンゴの展示や解説の他、沖縄の海をダイビングしているかのような体験ができるVRコンテンツ、サンゴを使ってフォトフレームを作成するワークショップ、沖縄県恩納村のホテル宿泊券などが当たるサンゴクイズ大会などを実施します。

美しい海に生息するサンゴについてより深く学べるイベント、「3月5日はサンゴの日！サンゴフェスタ」に是非お越しください！

3月5日はサンゴの日！サンゴフェスタ 概要

期 間：3月1日（金）～3月10日（日）

内 容：2006年から取り組んでいるサンゴ保全活動「サンゴプロジェクト」について、より深く知っていただくため、サンゴの展示や解説の他、沖縄の海をダイビングしているかのようなVR体験やワークショップ、クイズ大会を実施します。

サンゴプロジェクトとは・・・

沖縄県恩納村のサンゴをお預かりし、サンシャイン水族館で展示・育成を行い、成長したサンゴを枝打ちして沖縄の海に戻す「サンゴ返還プロジェクト」や、遺伝子型を確認した沖縄のサンゴの受精卵によりサンゴを殖やす「サンゴ礁再生プロジェクト」の総称。サンゴ礁の再生を願い、今後も保全活動を継続してまいります。

3月5日はサンゴの日！サンゴフェスタ 詳細

①VR沖縄ダイビング体験「沖縄の海に潜ろう！」

沖縄県の青く綺麗な海をダイビングしているかのように楽しむ事ができるVRコンテンツを無料で体験できます。コンテンツの中では、今日問題になっている赤土の流出についても触れています。※7歳以上利用可、その他利用制限あり。

日 時：3月1日（金）～3月10日（日） 各日12：00～17：00

※所要時間 約5分（ご案内、装着時間を含む）※お申し込み不要 ※料金無料

場 所：館内1階「サンゴ礁の海」水槽前

協 力：沖縄県農林水産部 営農支援課



報道関係者様からの
お問い合わせ先

株式会社サンシャインシティ コミュニケーション部 広報担当 鳴海・中山・大浦
TEL. 03-3989-3329（平日 9:30～18:00） FAX. 03-3989-3451 pr@sunshinecity.co.jp

共同ピーアール株式会社 PR アカウント本部 9 局 前山・高橋 TEL. 03-3571-5238

②ワークショップ「サンゴと貝のアクアフォトフレーム作り」

サンゴ礁域の砂浜で見られる「ガラサンゴ」と呼ばれるサンゴ片とカラフルな貝を使用したオリジナルのフォトフレームを作成できます。

日 時：3月9日（土）・3月10日（日） 各日11：30～15：30

毎時30分スタート ※所要時間 約40分

定 員：各回15名

場 所：さくらルーム（ワールドインポートマートビル9階）

料 金：700円 ※ドリンク無料券付き



③サンゴフェスタ サンゴクイズ大会

サンゴに関するクイズにチャレンジ！勝ち残りで、全問正解者には沖縄県恩納村のホテル宿泊券などの豪華プレゼントが当たります。正解者多数の場合は抽選となります。

日 時：3月2日（土）・3日（日）・9日（土）・10日（日）

各日12:45～、15:45～ ※所要時間 約15～20分

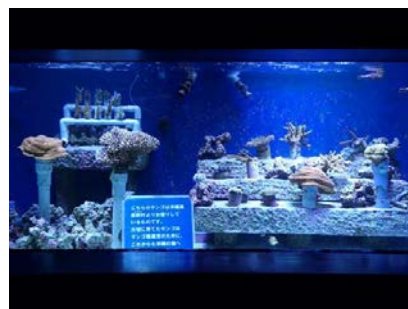
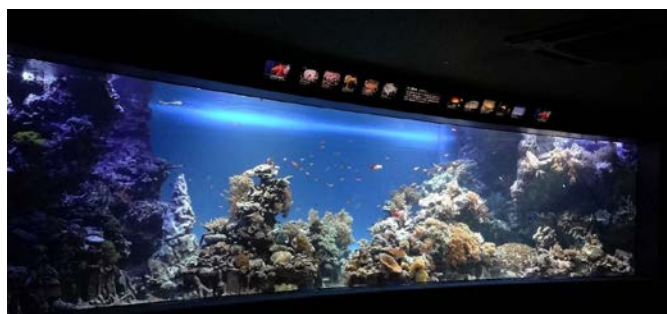
場 所：屋外エリア マリンガーデン「パフォーマンスステージ」※雨天中止

④サンゴの展示 ※通常展示

水族館でサンゴを飼育するためには、魚を飼育する以上に水槽の環境に配慮する必要があります。サンゴを飼育する水族館1階「サンゴ礁の海」水槽および「サンゴ礁の再生～恩納村の海から～」水槽は、水質・光・水流などをサンゴに適した条件にするために様々な機器や工夫を施しています。

サンゴ飼育の工夫・一例

サンゴは褐虫藻と呼ばれる藻類と共生しておりたくさんの光が必要。そのため他の水槽より強力なライトが多数あり、太陽光に近い光を照射しています。さらに24時間の太陽の動きを再現するため、光の強弱が変わるようにタイマー設定しています。



（左）「サンゴ礁の海」水槽、（右）「サンゴ礁の再生～恩納村の海から～」水槽

⑤サンゴプロジェクト「サンゴを学ぼう！」パネル展示

「サンゴプロジェクト」やサンゴについて解説するパネルなどを展示します。

日 時：3月1日（金）～3月10日（日）

場 所：屋外エリア マリンガーデン内

⑥裏方探検ガイドツアー～サンゴ特別編～ ※通常イベント

人気イベント「裏方探検ガイドツアー」（有料）のサンゴ特別編を実施しています。水族館でのサンゴ飼育の裏話や、バックヤードでのサンゴの様子などを観察いただけます。

日 時：毎週日曜日 11:00～

場 所：水族館バックヤード ※受付場所 チケットカウンター横

定 員：15名 ※先着順

料 金：500円 ※別途入場料が必要となります。

■サンシャイン水族館 概要

所 在 地：東京都豊島区東池袋 3-1 サンシャインシティ ワールドインポートマートビル・屋上

営 業 時 間：10:00～18:00（～3月20日）、9:00～21:00（3月25日～9月23日）※最終入場は終了1時間前 ※変更の場合あり

※3月21日～3月24日は10:00～21:00

入 場 料 金：大人（高校生以上）2,200円、こども（小・中学生）1,200円、幼児（4才以上）700円

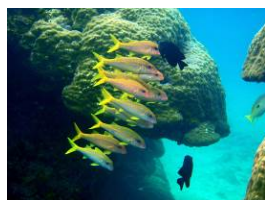
問 合 せ 先：サンシャイン水族館 03-3989-3466 <http://www.sunshinecity.co.jp>

※状況により、内容が変更になる場合があります。※画像はすべてイメージです。 ※金額はすべて税込です。

報道関係者様からの
お問い合わせ先

株式会社サンシャインシティ コミュニケーション部 広報担当 鳴海・中山・大浦
TEL. 03-3989-3329（平日 9:30～18:00） FAX. 03-3989-3451 pr@sunshinecity.co.jp

共同ピーアール株式会社 PRアカウント本部 9局 前山・高橋 TEL. 03-3571-5238



サンシャイン水族館「サンゴプロジェクト」の取り組み ～サンゴ返還プロジェクト&サンゴ礁再生プロジェクト～

http://www.sunshinecity.co.jp/campaign/cp/coral_project/

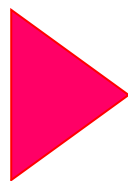
サンシャイン水族館（東京・池袋、館長：丸山克志）では、2006年4月より沖縄県恩納村の協力のもと「サンゴプロジェクト」を行っています。

2006年より、沖縄県恩納村のサンゴをお預かりし、水族館で展示・育成を行い、成長したサンゴを枝打ちして沖縄の海に戻す「**サンゴ返還プロジェクト**」を行ってきました。さらに2014年12月からは、沖縄科学技術大学院大学（OIST）の協力により、遺伝子型を確認した沖縄のサンゴの受精卵によりサンゴを殖やす「**サンゴ礁再生プロジェクト**」を開始しました。サンシャイン水族館ではこれらの取り組みを「サンゴプロジェクト」と称し、サンゴの保護と啓発活動を継続しています。

サンシャイン水族館では、サンゴ礁の再生を願い、今後も保全活動を継続してまいります。



サンゴ移植直後 (3.3cm×1.2cm)



約5年後 (48cm×38cm)

サンゴプロジェクト

たくさんの生物が暮らすサンゴ礁では、天敵となるオニヒトデの大量発生や土地開発等による土砂の流出、表層水温上昇に伴うサンゴの白化などでサンゴの大量斃死(へいし)が起こっています。沖縄県本島中央部、西海岸沿いに位置する恩納村は以前よりサンゴの保全活動を実施しています。サンシャイン水族館では2006年からサンゴ礁の再生に向けて沖縄県恩納村の協力の下、サンゴプロジェクトを推進しています。

時期	主な出来事
2006年	「サンゴ返還プロジェクト」開始 ※沖縄県恩納村協力の下 「サンシャイン サンゴ礁」水槽新設
2008年	「サンゴの枝打ち」お披露目記者発表会実施 サンゴの植え付け準備作業(恩納村の海掃除&オニヒトデ駆除) サンゴ返還式実施 サンゴ返還・植付け 1回目
2010年	サンゴ返還・植付け 2回目
2011年	サンシャイン水族館全館リニューアルにより、「サンシャイン サンゴ礁」水槽が「サンゴ礁の海」水槽、「サンゴ礁の再生～恩納村の海から～」水槽にリニューアル サンゴ返還・植付け 3回目
2012年	サンゴ返還・植付け 4・5回目
2013年	サンゴ返還・植付け 6・7回目
2014年	「サンゴ礁再生プロジェクト」開始 ※沖縄科学技術大学院大学(OIST)の協力の下 サンゴ返還・植付け 8・9回目
2015年	サンゴ返還・植付け 10回目
2016年	「サンゴプロジェクト」ウェブサイト立ち上げ http://www.sunshinecity.co.jp/campaign/cp/coral_project/ 一般のお客様向けに「サンゴ教室」を開催 サンゴ返還・植付け 11回目
2017年	「サンゴ教室」開催 サンゴの産卵 卵の育成開始 サンゴ返還・植付け 12回目
2018年	国際サンゴ礁年 オフィシャルサポーター就任 サンゴの産卵 卵引き続き育成中 サンゴ返還・植付け 13・14回目 一般のお客様向けに「サンゴプロジェクトツアー」開催

「サンゴ返還プロジェクト」に関する活動

「サンゴ再生プロジェクト」に関する活動

サンゴ返還プロジェクト

沖縄県恩納村漁業協同組合よりサンゴをお借りして育成し、殖やしたサンゴを沖縄の海へ還す活動を実施しています。恩納村の海に移植したサンゴが数年後に成長し、一斉産卵で浮遊した卵が流れ着いた新天地で定着することで、サンゴ礁再生の一端を担うことを目標としています。また、サンシャイン水族館に母サンゴを輸送し、水槽内飼育をすることで、自然災害等で恩納村の海のサンゴが死滅した場合の、DNAを保管する役割も担っています。



サンシャイン水族館での工程



大きく育ったサンゴを枝打ち

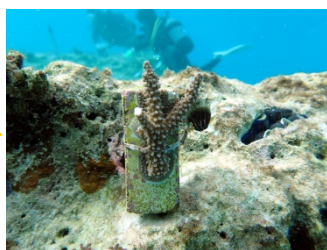


スティックに固定し、水槽内で育成

沖縄の海での工程



①岩盤に穴を開けます。



②穴の中にスティックを挿し込みます。



③識別タグをつけたら完成！成長を見守ります。

サンゴ礁再生プロジェクト

2014年12月より、「サンゴ礁再生プロジェクト」を始動しました。この活動は、サンゴの卵と精子が受精する有性生殖の方法を使ってサンゴを殖やし、サンゴ礁の再生を目指します。現在は、サンゴ礁の優占種（もっとも数が多い種類）であるミドリイシサンゴの仲間を3種類選定し、親サンゴとして沖縄で育てています。毎年6月頃の産卵を目指しており、2017年6月に初めて産卵を確認しました。

★サンゴ礁再生プロジェクトの方法

- ①親となるサンゴの育成。
- ②親サンゴが産卵し恩納村海域へのサンゴの幼生の供給を増やす。また、卵の一部を回収し、サンシャイン水族館にてサンゴの赤ちゃんを飼育。
- ③成長した子サンゴを恩納村の海へ移植。

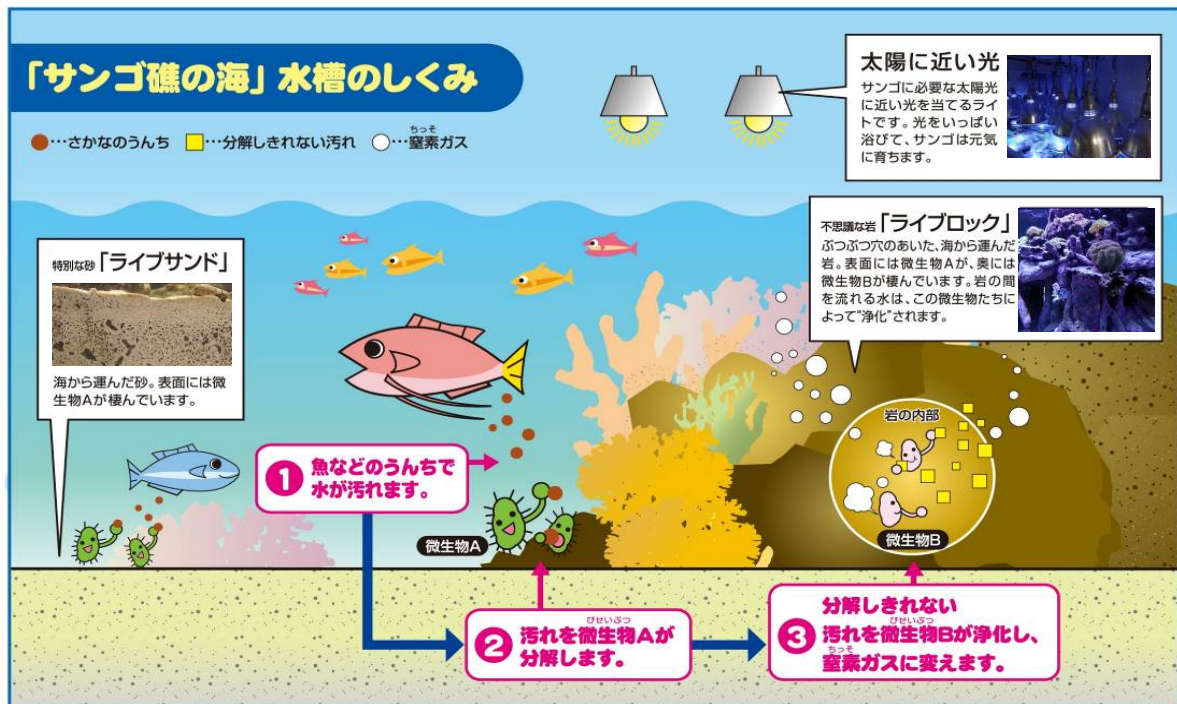

 左：親サンゴ 2014年12月、中央：親サンゴ 2015年9月、
右：親サンゴの産卵 2017年6月

水族館でサンゴを飼育するために

水族館でサンゴを飼育するためには、魚を飼育する以上に水槽の環境に配慮する必要があります。サンゴを飼育する水槽には、水質・光・水流などをサンゴに適した条件にするために様々な機材や工夫が必要です。サンシャイン水族館では下記の図のしくみによる水槽でサンゴを飼育しています。



「サンゴ礁の再生～恩納村の海から～」水槽



サンゴとは？

サンゴは、刺胞（しほう）動物と呼ばれるグループの仲間です。刺胞動物のグループには、イソギンチャクやクラゲも属していて、刺胞と呼ばれる毒の器官を持っているのが特徴です。サンゴもこの刺胞を使って、エサとなるプランクトンを捕まえています。また、サンゴは太陽の光が届く浅いあたかな海に生息しています。これはサンゴの生活のほとんどが光合成によって作り出されるエネルギーに由来しているためです。サンゴの体内には「褐虫藻（かつちゅうそう）」という植物プランクトンが共生しており、この褐虫藻が光合成によって作り出すエネルギーをサンゴが利用しています。

